

事務所:〒270-1143
 我孫子市天王台4-3-11
 TEL/FAX:04-7183-6700
 自宅:青山台4-2-14



自民党

こんにちは 我孫子市議会議員

かい俊光 です

市議会提出予定議案～議会開会前に～

補正予算4億400万円増額

◎12/2開会(予定)の平成25年第4回議会提出予定の主な議案について

- ・人事院勧告に基づく一般職員の給与 55歳以上の給与抑制(150人が対象約700万円の抑制)
- ・空家等の適正管理条例の制定(代執行も)
- ・保育園設置条例(並木保育園の閉園)
- ・下水道事業受益者負担金条例一部改正(普通の家庭で年間約184円値上)
- ・小規模改良住宅の設置及び管理
- ・消防職員の定数増員146から152名の増員
- ・指定管理者の指定(あびこ市民活動ステーションの管理)

◎10月16日の台風26日の見舞金は26日から400軒の被災家屋について配布

◎台風26号被害状況

	布佐	若松	久寿家	他地区	合計
床上浸水	96	0	0	0	96
床下浸水	270	16	2	3	291
店舗内浸水	39	0	0	1	40
浸水合計	405	16	2	4	427

(仮称)水害被災者住宅復旧支援補助金交付要綱～「住宅修繕にかかる補助」

○修繕費用の1/2まで…床上30万円/床下も20万円/民間賃貸住宅補助 1/2 (3万円×3ヶ月)

◎ 補正予算 404,000千円の増額

補正後…年間予算総額37,372,000千円

<主な事業> (単位:千円)

- ・広報発行事業 672千円
- ・徴収事務運営費(見込を上回るコンビニ納付のため)760
- ・子ども医療費助成事業7,669
- ・児童手当支給事業 3,630
- ・私立保育園運営費補助事業23,757
- ・最終処分対策事業1,000(チップ処理)
- ・新規就農支援事業2,835
- ・公園維持管理費(樹木伐採、剪定の要望が多いため)4,400
- ・液状化対策事業20,600

なお、行政の貯金である財政調整基金は補正予算によって**25.3億円**に

慶應義塾全国議員連盟にて、塾の先輩である鈴木康友・浜松市長と市政に対する懇談会をしてきました。浜松市という12市町村が合併した縦に78キロという大きな政令市だということで、公共施設を管理するファシリティマネジメントに力をいれています。「施設評価」及び「再配置計画」などによる施設廃止を中心に全施設の20%(383施設)を削減予定。産業政策として



前列真ん中が鈴木市長
後列右端が甲斐

は「三本の矢」にかけて『産業イノベーション』『未来創造「新・ものづくり」特区』『中小企業の海外進出支援』を打ち出して活性化を作りだしていく計画だそうです。(私も議会で提案しましたが)なお、私の恩師の笠原英彦教授と同級生ということで個人的な話が弾みました。

お隣の三上元・湖西市市長も塾弁論部出身ですので懇談会を設定して頂きました。三上市長は3.11後、真っ先に脱原発を公言し菅直人元首相とも脱原発活動で共に活動をしているということで、複雑な心境でしたが、その心情には共感を受けました。「人間として欠点があってもいい、政治家として仕事をやり遂げるべきだ」という気持ちには同感です。また、共産党を除く全議員が現職支持という大逆風の中、船井総研をやめて挑戦した市長選で初当選を果たした話は選挙戦術として参考になります!

稼げる農家は可能か？

茨城町の「農業生産法人アグリ農場」を農業委員会にて視察してきました。

ここは、行政の力に頼らずに、市場が必要とする野菜を18haの敷地にハウス280以上建て、独自のルートを出荷しています。パートさんを50人、中国からの研修生も20人ほど雇っているとのこと。米作ですと、設備投資がかかり、減価償却の負担が大きいので、大型機械を使わないビニルハウスの野菜畑に特化し、パートさんの人手で大規模な売り上げをカバーしています。

最初は1haを自宅から離れた場所を借りて、パートさん3~4人から始めた家族経営の農業だったそうです。農業が自立して稼ぐビジネスモデルとして勉強になります。ただ、我孫子ではどうかという問題がありますが、ハウスのルッコラの原生種セルパチコ、小松菜は見事です。安定した量をお店に卸すために、少しずつずらして計画的に多目に作っているそうです。

行政としては農業者が自由に生産活動できるようなしっかりとした政策やインフラ整備をしていくことが重要ですね！

「慶応議連視察～厚労省、内閣府から4つのレクチャー」

◎内閣府「内閣府の防災対策について」

- ・内閣府防災部門の充実→課長クラスが3人から8人へ
- ・東日本大震災を踏まえた防災対策の見直し
- ・首都直下型については今年中に被害想定最終報告を
- ・災害文化の継承・発展などが取り組むべき事項へ
- ・市町村居住者から地区防災計画を提案できるように
- ・実行会議の具体的なテーマとしては…
:ビッグデータやSNS等膨大な災害情報の迅速な収集と的確な分析体制を

◎厚労省「インフルエンザ対策について」

- ・毎年、12月にインフルエンザのピークを迎える
- ・今年目玉はゆるキャラ、マメゾウくんとアズキちゃん、「マメにマスク、マメに手洗い」で全国のゆるキャラとコラボ
- ・Twitterを利用して掛け合いをして国民に啓発
- ・今シーズンのワクチンは十分な供給の6.656万回分
- ・タミフルの副作用については科学的根拠なし

◎厚労省「肝炎対策について」

- ・B型肝炎患者数7万人 内慢性5万人 / 肝硬変、肝がん2万人 / C型肝炎37万人、内慢性28万人 / 肝硬変、肝がん9万人(ワクチンなし)
- ・平成22年に肝炎対策基本法施行。

- ・患者、医療従事者、学識経験者からなる肝炎対策推進協議会
- ・肝炎総合対策について 平成24年 239億円 平成25年188億円(環境整備137億円/研究の推進49億円)
最新の話題としては…C型肝炎に対するシメプレビルを含む3剤併用療法を医療費助成の対象

◎厚労省「ジェネリック薬品の取り組みについて」

- 目的:「価格が安いのは患者負担の軽減と医療保険財政の改善に資する。医療費の効率化を通じて、限られた医療資源の有効活用を図り国民医療を守る」
- ・安定供給の点と、品質に問題がないかという疑問で普及が進まないのではと考え、薬の不安について解消していつている
- ・メディナビで最新の情報を発信している
- ・都道府県レベルの後発薬品推進の協議会を設置
- ・保険者による啓発活動
- ・処方箋にチェックが入ってなければ後発品に変更できる。
- ・市場シェアの指標は全薬品からだったが、新指標は後発品がある薬品の中からの割合
- ・各国のシェアはアメリカ90%、その他低いところでも60%
日本は先進国でダントツ最下位の46.7%になっている。
- ・平成30年までにその比率を60%にするのが目標！

■前日に台風27号の影響が懸念されていましたが、第19回手賀沼エコマラソンが無事行われ私も9年連続出場してきました。記録は1:39:10 順位は1046位/6003人。。。昨年よりかなり順位を落としてのゴールでした。練習は逆の意味でも裏切りません。レースに出るたびに自分の生活のリズムを見直す機会になります。今は、起伏の多い以前の練習コースに戻って走っています。

■現在、(仮)「農家の婚活プロジェクト」「我孫子フィルムコミッション」「自治会プロジェクトチーム」と議会活動とは別に、我孫子を元気にしたいという市民の方と一緒に取り組んでいます。行政でできないスピード感や柔軟性を補うために民間で

きることは民間で、私も議員として自ら行動を起こして頑張っていきます！

E-mail : info@kai-toshimitsu.com

twitter : @Kai_Toshimitsu

Facebook : 「甲斐俊光」(ページも公開中！)

1972年 7月23日 生まれ (楽観的なO型)
1995年: 慶応義塾大学法学部政治学科卒業
1995年: ヤオハンジャパン(株)入社
2004年: 衆議院議員桜田義孝秘書
2011年: 我孫子市議会議員2期目当選
全国若手市議会議員の会副災害部会長
◎趣味 : ランニング(フル3時間12分)読書(漫画も)
◎マイブーム : ラーメン食べ歩き、自転車、パソコン
家 族: 妻、息子(1歳)

自民党我孫子市支部広報部長/教育福祉P常任委員/放射能対策特別委員/隊友会特別会員/テニス協会所属/ウィングAC

☆「生き甲斐、やり甲斐、育て甲斐」